



2024年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社フォーシーズHD
代表者名 代表取締役社長 寺田 智美
(コード番号 3726 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 松野 博彦
(TEL. 092-720-5460)

DENBA JAPAN株式会社との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、2024年11月14日の当社取締役会にてDENBA JAPAN株式会社（以下「DENBA社」という。）と資本事業提携を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

これに関連して、当社株主であるネットプライス有限責任事業組合（以下「ネットプライスLLC」といいます。所有株式数1,230,500株、株式総数に対する所有株式数の割合12.21%。）とDENBA社の間で、ネットプライスLLCが保有する当社株式の一部をDENBA社へ譲渡すること（以下「本株式譲渡」といいます。）について合意したことを認識いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本業務提携に至った理由と目的

当社は、“美と健康”“生活における癒し”を事業の柱の一つとして、化粧品・健康食品、アロマ関連商品を販売しております。当社は、お客様のお悩みを解決することを使命としており、お客様の声に傾聴した商品開発、サービスの提供を行い、お客様により良い暮らしをご提案する解決型企業として、通販事業、卸売事業、リテール事業を展開しております。通販事業では、社内にコールセンターを設置しPT（パーソナルトレーナー）と呼ばれる社歴10年以上の豊富な美容知識を有した社員が、お客様のニーズやお悩みにお応えし商品を販売するとともに、自社オンラインショップとECモールでの販売を行っております。卸売事業では、国内外において販路を拡大、リテール事業では関東地方に17店舗の「Aroma Bloom」にて、当社アロマ関連商品を販売しております。

当社が現在メインとしている“美と健康”“生活における癒し”の分野は人々の暮らしに欠くことのできないもの、QOL（生活の質）の向上につながる事業であると考えており、今期はより一層の拡販と他社との業務提携において、これらの分野にて認知・売上を拡大することを方針としております。

弊社を取り巻く事業環境の中で、本日、業務提携に至りましたDENBA社は、独自の水分子活性化技術を核として現在、食品環境、流通、食、美容・健康の分野において積極的な事業を展開されています。創業以来“水”に着目し無限の可能性を見出し、水分子に微細振動を与えることにより食品の鮮度保持を実現されております。そのことより食材を活性化し、食品劣化の抑制を実現することができるとして、食品の世界で活用が開始され、空間電位発生装置を利用した鮮度保持装置の特許を世界49か国で取得されております。当初は、生鮮食品の鮮度保持技術として「DENBA+」を冷蔵庫・冷凍庫、倉庫等に活用することから始まり、油調理補助機として「DENBA Fryer」を飲食店、量販店等で活用、冷凍保管技術を「DENBAコンテナ」として、食の分野での活用することを進めてられております。その後、その技術を応用し、人においても体内の水分子にアプローチすることができることから、細胞レベルで活性化を促し、健康寿命を延ばすこと、また病気予防において効果が期待されることから「DENBA HEALTH」を開発・販売されております。「DENBA HEALTH」は、DENBA社と東京大学大学院教育学研究科 身体教育学コースの野崎大地教授および伊藤忠商事株式会社との共同研究により、自律神経（交感神経・副交感神経の双方）の活動を高

めることを確認されていること、また麻布大学では豚のストレスの緩和に対する実証データを取得されており動物のストレス緩和において使用されていることが報告されております。人や動物において、様々な大学での実証結果が出されていることや、ホテルやエステサロン、他多くの企業様向けでも本製品を導入され一定の認知がされていることを受け、当社としても健康面において、本製品の技術を利用した製品の開発及び本技術を利用した商品は、現代人が抱えるストレスや睡眠のお悩み改善・解決に導くことができるのではないかと考えております。また、美容分野において「binno(化粧ボックス)」を開始され美容における製品も強化されております。

水は人間の体内でもっとも多く含まれる物質で、生命活動をサポートしており、成人の体の55~60%を水分が占めていると言われております。水の主な働きとして、物質の溶解、物質の運搬、体温調節、また肌の水分量としてもキメや乾燥といった肌状態を左右することから、健康・美容の面で非常に重要なものだと当社は考えております。上記のとおり、本業務提携は当社が考える健康・美容の面において、DENBA社の水へのこだわり、最先端の技術、唯一無二の技術力と当社がこれまで培ってきたノウハウにおいて、新たなイノベーションを創造することを目的としております。

DENBA社の理念である“確かな技術力で、社会に新たな価値を提供し続ける”という思いは、当社の“人々のお悩みを解決したい”という理念と一致しており、本業務提携において事業の幅を広げることになると確信しております。本業務提携は、化粧品、健康食品の研究・開発分野において当社との独占的な契約であります。本件は、当社の社外取締役かつ主要株主であるネットプライス有限責任事業組合の組合員である立川光昭氏が以前よりビジネス上においてDENBA社とのコミュニケーションがあり、DENBA社の技術は当社が事業展開する美と健康において化粧品等への展開が期待できるとし、業務提携の話を進めておりましたが、積極的な事業展開を進め、よりシナジー効果を高めていくため、資本業務提携を行う事を双方で合意いたしました。

当社はこれまでの販売において、お客様とのコミュニケーションの中から得た当社独自のノウハウやお客様のお悩みや趣味嗜好等のデータとDENBA社の技術をもって、新しい商品を開発すること、またDENBA社の商品を拡販していくことで多くのお客様の“お悩みを解決する”ことを目指してまいります。当社は、本業務提携は既存事業における売上・利益及び当社のブランドにおける認知拡大の次のフェーズに進むためのものとして位置づけております。

<参考>DENBA社HPより https://www.denba.co.jp/?page_id=12

2. 資本業務提携の内容

(1) 本業務提携の内容

当社は、本提携により、DENBA社が有する水分子活性化技術を用いて化粧品、美顔器、健康グッズ等の開発を行い、売上の拡大を図ってまいります。当社とのコラボレーション企画からブランドを立ち上げ、新たな美と健康にかかわる商品の開発を行い、販路を拡大してまいります。

また、当社が現在海外への販路拡大を強化している中で、DENBA社は中華人民共和国に販売会社をもたれており、幅広いネットワークを活用して中華人民共和国への販路拡大にも全面的にご協力いただけることとなりました。このことにより、当社の販売強化またDENBA社の技術を活用した当社商品の開発において、中華人民共和国における当社及び当社ブランドの認知・売上拡大を強化できると考えております。

当社は、前述したとおり国内において通信販売、リテール店舗、国内外における卸売での販路を有し事業を展開しております。現在、化粧品では「Cure」「FAVORINA」「FINE VISUAL」「ANYTHING WHITE」、アロマ関連商品では「Aroma Bloom」のブランドでOEM商品を開発・販売するとともに、通信販売、リテール店舗においては当社が掲げるお客様のお悩みに寄り添い、改善に導けるサービスや商品の販売を行っております。通信販売とリテール事業にて、会員として登録いただいているお客様に向けてDENBA社の商品をご案内・提案し、リテール店舗では実際に製品をご体験いただけることを企画しております。

また、弊社の“人々のお悩みを解決したい”という理念と親和性の高い商品として、DENBA社は、睡眠のお悩み解決を求める声が多いことをうけ、東京大学と世界で活躍されている美容鍼灸かつ小顔筋膜施術の第一人者である大口貴弘氏との共同研究により開発された大口式の治療技術を備えた枕“DENBASleep”の販売を2024年12月から予定されており、さらには、ペット需要の増加に伴い進むペットの家族化

に対する意識の高まりより、ペットの健康維持を目的とした動物用健康機器「DENBA Pet」の開発および販売を検討しております。当社が保有する通信販売の会員様及びリテール店舗でのLINE及アプリ会員様へご案内することで、DENBA社の有する技術力や商品を広めてまいります。

(2) 本資本提携の内容

DENBA社は、当社株主であるネットプライスLLCが保有する当社の発行済み普通株式201,553株（発行済株式総数に対する所有株式数の割合2.0%）を、市場外の相対取引により取得する予定です。

3. 資本業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	DENBA JAPAN 株式会社		
(2) 所 在 地	〒104-0044 東京都中央区明石町4-5 DENBA Plaza		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 後藤錦隆		
(4) 事 業 内 容	DENBA+製造・販売 DENBA Fryer 製造・販売 DENBA 搭載コンテナ輸入及び販売 DENBA Health 製造・販売など		
(5) 資 本 金	99百万円		
(6) 設 立 年 月 日	2020年10月1日		
(7) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。	
	人 的 関 係	該当事項はありません。	
	取 引 関 係	該当事項はありません。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	

大株主及び持ち株比率、当該会社の最近3年間の連結経営成績及び財政状態は、相手先の要望により非開示とさせていただきます。

4. 日 程

(1) 取締役会決議日	2024年11月14日
(2) 契約締結日	2024年11月14日
(3) 事業開始日	2024年12月1日頃（予定）

5. 今後の見通し

本件による当社の今期の連結業績への影響は現在精査中です。確定次第速やかにお知らせいたします。
(参考) 当期連結業績予想（2024年11月14日公表分）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想 (2025年9月期)	2,799	7	8	7
前期連結実績 (2024年9月期)	2,257	▲126	▲129	▲230

以 上